

がんゲノム医療推進コンソーシアム懇談会開催要領

1. 開催の趣旨等

ゲノム情報を解析し最新の医学的知見に基づいて個人の状態により合わせた診療を行うがんゲノム医療を実現するためには、ゲノム情報を効果的に集積し、診療や新たな医薬品等の開発に利活用する仕組みを構築する必要がある。

国内の医療従事者や研究者の力を結集し、最新のがんゲノム医療を提供するためのフェアかつオープンで持続可能な仕組みを構築するために必要な機能や役割を検討し、がんゲノム医療の提供体制の具体的な計画を策定するため、「がんゲノム医療推進コンソーシアム懇談会」を開催する。

2. 構成員

構成員は別紙 1 のとおりとする。

3. 運営

- ・ 懇談会に座長を置き、座長は、構成員のうちから厚生労働大臣が指名する。
- ・ 懇談会の事務局長は技術・国際保健総括審議官とし、事務局構成員は別紙 2 のとおりとする。
- ・ 懇談会の庶務は、関係各局・各課の協力を得て、健康局がん・疾病対策課が行う。
- ・ その他、懇談会の運営に必要な事項は、技術・国際保健総括審議官が定めるところによる。

(別紙 1)

がんゲノム医療推進コンソーシアム懇談会構成員

天野 慎介	全国がん患者団体連合会	理事長
五十嵐 隆	国立成育医療研究センター	理事長
加藤 和人	大阪大学大学院医学系研究科	教授
北川 雄光	慶應義塾大学医学部	外科学教授
杉山 将	理化学研究所 革新知能統合研究センター	センター長／ 東京大学大学院新領域創成科学研究科 複雑理工学専攻 教授
直江 知樹	名古屋医療センター	院長
中西 洋一	九州大学大学院 医学研究院	呼吸器内科学分野 教授
西田 俊朗	国立がん研究センター中央病院	病院長
間野 博行	国立がん研究センター	研究所長
宮園 浩平	東京大学大学院医学系研究科分子病理学	教授
宮野 悟	東京大学医科学研究所	ヒトゲノム解析センター長
山口 俊晴	がん研有明病院	病院長

(別紙 2)

事務局の構成 (◎は班長、○は担当)

構成員	制度班 ※	コンソ ーシア ム班※
事務局長 技術・国際保健総括審議官		
大臣官房審議官（危機管理、科学技術・イノベーション、国際調整、がん対策担当）	◎	○
大臣官房審議官（医政、精神保健医療、災害対策、医薬品等産業振興担当）		◎
大臣官房厚生科学課長	○	○
医政局研究開発振興課長	○	○
医政局医療経営支援課長	○	○
健康局がん・疾病対策課長	○	○
健康局難病対策課長		○
医薬・生活衛生局医薬品審査管理課長	○	○
医薬・生活衛生局医療機器審査管理課長	○	○
保険局医療課長	○	○
政策統括官（統計・情報政策担当）情報化担当参事官	○	

※ 制度班はがんゲノム医療を速やかに国民に届けるために必要な薬事承認や保険適用等の制度面での対応を検討し、コンソーシアム班はがんゲノム医療の提供体制に係る具体的な計画を検討する。